



会報 安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

☎ 692-8686
島根県安来市安来町878-2
TEL 0854-23-8220
FAX 0854-23-8221
http://www.y-hozon.com/
E-mail: admin@y-hozon.com

伊藤 上笠出渡
藤 柿岡雲部
芳 公二俊皆
男 雄美子(石見)
(六道)(石見)

出雲 正之助(益田)
波佐本 龍子(益美)
竹内 松子(松江)
松浦 玉吉(松江)
浜崎 正人(松江)
渡邊 怜子(米子)
野本 伊佐子(米子)
出雲 篤之助(津山)

◆ 大師範 ◆

平成十六年度 唄い初め会

新 名人に聞く

今年の唄い初め会において、三代目安達順吉さんが絃の部で名人に推挙されました。
新名人に、喜びの声と今後の抱負を伺いました。

温故知新



絃 名人
三代目 安達順吉

新春を迎えた安来節保存会唄い初め会の席上にて最高位名人に推挙を受け、身に余る光栄と身の引きしまる思いで、この身に重責を感じております。昭和二十四年に二代目安達順吉師匠に師事し、この年の春、保存会復活と同時に入会しました。この度の正式種目に取り上げられて活動に入りまして、先輩方々の御厚情と御鞭撻により今日の私があります。安来節の三味線は唄との関係、不思議でなりません。絃は唄の伴奏。この役割に徹して

入会以来五十四年間、私なりに努力を重ね、特に若い世代への取り組みに力を入れ、少年部の育成に力を注いできました。この度正式種目に取り上げられて活動に入りまして、先輩方々の御厚情と御鞭撻により今日の私があります。安来節の三味線は唄との関係、不思議でなりません。絃は唄の伴奏。この役割に徹して

節発祥の地としての充実を図るため、市民教室、公民館教室、文化祭、地域の活動に協力し、後輩の指導に尽力致す覚悟であります。今、市では、安来節会館建設計画が進行中です。伝統文化の継承と「安来節のメッカ」となるよう期待し、早期実現を望んでおります。この度名人称号を賜ったお礼と今後の抱負を申し上げます。安来節保存会へますますの発展をお祈りいたします。

プロフィール
生年月日 昭和四年八月十二日
保存会入会年月 昭和二十四年四月
保存会役職 資格審査員
支部内役職 本部道場顧問
座右の銘 「和以貴為」

支部競演成績

- 安来市長賞 関西支部
- 安来市議会議長賞 神門支部
- 安来市観光協会展賞 本部道場
- 安来市商工会議所会頭賞 宍道支部
- 山陰放送賞 益田支部
- 足立美術館賞 米子支部
- 家納喜賞 加茂支部
- 天界賞 松江支部

銭太鼓格付審査



練習風景

銭太鼓審査員

- 資格審査長 野坂亮利
- 副資格審査長 出雲正之助
- 資格審査員 四代目 渡部お糸
- 足立 総
- 佐々木 偉市
- 伊藤 芳男
- 浜崎 正人

銭太鼓部門の新設に伴い、他の部門との足並みをそろえるため、本年度限りの格付審査を実施しました。一月三十一日(土)から二月十六日(月)にかけて計五回、受審者数は四百八十四名にのびりました。当初の目的どおり、銭太鼓をするために新規加入した会員は約百名。小さな小学生から、銭太鼓歴三十年というベテランまで、毎回熱気を帯びた演技が繰り広げられ、盛大な拍手あり、飛んでいった銭太鼓に夕暮息ありと、ドラマに満ちた審査会でした。

この審査会による格付の内訳は次のとおりです。
少年2級 四名
少年1級 五名
少年初段 三名
3級 十六名
2級 五十四名
1級 七十四名
初段 五十五名
二段 九十三名
三段 八十八名
准師範 六十七名
師範 二十五名

初めての試みであったために、反



審査風景



副指導部長
五代目 富田徳之助

三味線一筋32年

昭和四十八年に智頭支部が結成され、父の勧めで保存会に入会致しました。基本の三味線を父から習い、昔のレコードを聞きながら独学で安来節の三味線を弾く毎日でした。昭和五十年に支部の講習会に、名人三代目富田徳之助師匠を招き、私にとって生涯忘れる事の出来ない運命の出会いだったと思います。

身に鳥肌が立ち、十八歳の私に安来節の素晴らしさを教えて頂きました。その夜、富田先生から父に、目に光る物が有るから私を弟子にしたいと言われたそうです。有り難い言葉を頂き、本当に嬉しく思いました。弟子になってからというものは、師弟の厳しさ、礼儀作法を学び、出陣子や義太夫の曲を主に教えて頂きました。

師匠は、こういった曲を上手に弾けるようになれば、必ず安来節が上手くなると言っておられました。本当に安来節の三味線が上手くなるのだから不安もありましたが、師匠の教えを守り一生懸命練習に励みました。今思えば、伝統文化の尊さ大切さを教えて頂き心から感謝しております。



銭太鼓審査員
浜崎正人

銭太鼓導入に思う

銭太鼓導入が決定した瞬間、私は銭太鼓に対し「徹頭徹尾」の気持ちで邁進してきた日々を思い浮かべていました。

明治四十四年に安来節保存会が設立されて以来、大正、昭和とその人気を高め、全国的なブームを引き起こしていた安来節や他の民謡も、平成に入ってから音楽の多様化による若者の民謡離れが進み、民謡界においては厳しい状況



私

と

安

来

節



となつてきました。そんな中、安来節保存会が思いきって正式種目として導入した銭太鼓は、まさにこれからの保存会にとって明るい材料となることでしょう。私自身、全国から銭太鼓の研修を依頼されて、愛好者の生の声をたくさん聞いてきました。

「目の輝きとチャレンジ精神、何かわからないけど一度体験するとリズムの良さに惹かれて闘志が沸いてくるんです」という言葉に、今一度自分自身も初心に戻され、身が引き締まる思いと前途の明るさを感じてきました。戦後、身振り手振り調子となり、いろいろ変化し、リズム楽器として持ち得てきた銭太鼓が、平成十六年一月三十一日を皮切りにスタートし、五回にわたる格付審査に全国から約五百名の方が受審されたということは、保存会にとって大変歴史的

な出来事であったといえるでしょう。私が、技術、表現法等こだわりの舞台も体験してみて、完璧に打つ難しさ、それができたときの達成感と常に新鮮になれる喜びを味わい、奥深いものと感じてまいりました。今後、安来節の発展とともに銭太鼓がレベルアップしていくことを楽しみにしております。そして、常に謙虚に全国の銭太鼓愛好者の皆様の声に耳を傾け、銭太鼓のための環境づくりと発展を願ってやみません。

最後に、夢と希望をもって継続することの大切さ、銭太鼓が人生の活力となつて、全国から多くの銭太鼓ファンが本場安来を訪れ、安来節保存会の活性化につながることを期待いたします。

安来節保存会
江田島能美支部

広島県安芸郡江田島町小用3-10-19
TEL 0823-42-0416

支部情報



鯉城支部長
長部啓二

ひびけ歌声世界へ

私は昭和五十六年安来節保存会に入会しました。当時は民謡が盛んな時代で、安来節も数多くある民謡の一つとしか考えておらず、昇格審査のみ参加してました。その後、安来節全国優勝大会に準師範級の部で初めて出場させて頂きました。その時の出演者の皆さんの熱気とレベルの高さに、驚きと同時に感動しました。

浅草ミニライブ安来節ショー
安来節どじょう揃い踊り

- 日時 毎週土曜日 午後1時・3時 2回公演
- 入場料 1,500円 (保存会員は受付にて500円割引あり)
- 場所 安来節保存会関東支部浅草道場 (浅草雷門左折徒歩30秒)

日曜日の浅草ミニライブショー出演者募集「語り・唄・踊り」
スカウトマンの目の光る浅草の小さな舞台で大きな夢を。午後1時・3時 2回公演

〒111-0032 東京都台東区浅草1丁目18-3 TEL・FAX 03-3847-0215

このコーナーは
会員の皆様の紙面です。
原稿をお寄せください。

会員の声コーナー



智頭支部
吉村 三津子

やめられない！安来節

「もういいかげん安来節やめたら。」と主人。「なんであほなこと。まだ頑張るからいらんこと言わんといて。」津山に来て二十一年、今もって二人の会話は関西弁。

思えば十一年前遊びのつもりで習い始めた安来節、何も解らないまま入会した私でした。始めたは譜は読めんし、楽器たるもの小学生の時吹いたハーモニカぐらいで三味線なんぞは触ったこともない状態でした。まして三味線ばかりでなく唄も鼓も踊りもあるではありませんか。ほんとうに困りました。上手くならないし、不安な月日が続き、幾度もやめようかと悩み続けました。一年が過ぎ、ここでやめたら今迄のことが何もなくなくなるし、親しくしてもらった友達も失うしと考えを変え、人の倍かかってでも続けようと思いはじめました。まわりの温かい声援にもかかわらず、進歩もなしに十年の年月が過ぎてしまいました。昨年のこと、やっと夜霧の中に浮かぶ街灯のようなものが見え始め、少々熱が入っている今年です。そこで文章の始めの夫婦の会話。写真は二月初め撮ったものです。中央に光るもの——唯の反射か希望の光か、静かに見守っています。先の長い学習だが私は頑張りまっせ。

92歳のアイドル

今年九十二才になる尾上武夫さん、二月十五日の支部審査会で踊り3段に見事昇格しました。審査会参加の会員から祝福され、踊り愛好の女性群からは、長寿と健康とにあやかうと、握手攻めにあいました。なかには尾上さんの体に触りに来る女性もおりモテモテです。
(東京支部長 棚橋記)



東京支部 尾上 武夫

覚えた芸を ボランテニア活動に 活かしたい

私は平成十一年八十七歳で踊りを始めて六年目に入りました。老齢で残された時日も少ないが、健康の許す限り踊りを続けるつもりであります。八十八歳の秋、肺ガンの摘出手術を受け、今も検査を続けておりますが、稽古は休まないように努めております。不器用と鈍重さは生来のものですが、何回も反復するよう努めています。また体力作りに散歩をし、普段の生活も規則正しくと心掛けております。
これまで若い同僚と何度も男踊りのボランテニアを行って来ました。今後も福祉施設などへの奉仕を続けて行きたいと願っております。

伝えたい素晴らしさ

平成十六年の唄い初め会に於て本会より表彰をいただき、身に余る事と恐縮しております。これは本部道場と保存会の諸先生のお陰と感謝しております。私は会員歴二十年位ですが、大師範の足立茂實師匠に師事し、三味線の指導を受けております。教室では小、中学生、大学生、社会人等、職業も年齢もいろいろな人が日夜学んでいます。若い人を育てたいとの師匠の目標で新入会員も増えました。みな安来節が好きで芸の向上をめざして熱心です。時には老人施設の慰問や祭りのイベントに出かけて演芸をさせていただく事があり、教室のレッスンと違う貴重な勉強をさせてもらいます。

安来節の合間には他の民謡も教わり、みんな楽しく練習しております。安来節は難しく、その分魅力が増し、愛好者が多いと思います。上手い唄い手の素晴らしい声と節回し、又、三味線の繊細な音色とダイナミックなバチ捌きから生ずるリズム等、高度な技術を見ると感動します。天分の上に相当な努力を重ねられたと思います。その様な表現豊かな芸には到底なれませんが、正しい安来節を会得し引き継ぐため頑張りたいと思います。

学校教育でも郷土民謡安来節を取り上げて学習されている様ですが、若い人達にどしどし入ってもらう為には地域で一層振興する事が大事だと思います。入り易く、入ってみたい安来節保存会になるよう微力ですが、お役に立ちたいと思しますので、一層のご指導をいただきますようお願い致します。



本部道場
清山 満智子

安来節保存会 大江戸支部

花のお江戸に唄好き集い
今日も明日も安来節

新支部“大江戸支部”をどうぞ
よろしく願い申し上げます

東京都江東区塩浜1-1-13-1317
TEL 03-3615-0888

東京上京の折に安来節のご指導を
いただける方はご連絡下さい

安来節保存会 東京支部

- 支 部 長 棚 橋 保 東京都江東区 TEL 03-3685-0428
- 副 支 部 長 板 垣 満 東京都練馬区 TEL 03-5920-4507
- ” 育 藤 孝 彦 横浜市港南区 TEL 045-832-5043
- ” 小 林 孝 久 東京都大田区 TEL 03-3753-8278
- 事 務 局 長 楯 正 男 埼玉県所沢市 TEL 042-928-5553
- 事 務 局 次 長 育 藤 和 子 東京都府中市 TEL 0423-64-1914
- 会 計 中 村 英 生 千葉県市川市 TEL 047-376-1838



東京都新宿区西新宿7-7-7 ハイライフ西新宿316号
TEL 03-3361-0488 FAX 03-3361-4293

本場で唄う安来節

出場者募集のご案内

安来節発祥の地で、あなたの技倆を披露してみませんか!!

日時：平成16年8月16日(月)・17日(火)
両日とも午後6時から午後10時まで
 ただし、持ちタイム1チーム(人)10分程度を予定しており、タイムスケジュールは調整を行います。

場所：市内各所に設置されている舞台
 昨年：5箇所設置(八幡町・明治町・大市場・中市場・新町)
 出場申込は、住所氏名・希望日・時間帯・演目・連絡先を記入し、FAX又は電話で申し込み下さい。

詳しくは
やすぎ月の輪まつり実行委員会

〒692-0011 島根県安来市安来町863
 にぎわい交流館内
 TEL 0854-23-7022 (FAX兼)
 メールアドレス tukinowa@ninus.ocn.ne.jp



安来節保存会のメインイベント「安来節全国優勝大会」は毎年8月15日、16日、17日に行われていますが、この時期安来市内は古くからの伝統のまつり「月の輪まつり」で賑わっています。かつてはこの「月の輪まつり」にたくさんの安来節仁輪加(にわか)が参加し、町内中を唄い流して盛り上げていたとのこと。この仁輪加の審査が現在の優勝大会の前身です。
 昔の賑わいを取り戻すため、昨年この町内舞台が復活しました。優勝大会が行われている会場のすぐそば5箇所です。そこで、この舞台で唄い、踊っていただける方を募集しています。出演料は無償ですが、原点に戻って、見せる、聞かせる楽しさを観客と一緒に味わってくださる方、ぜひご参加ください!!

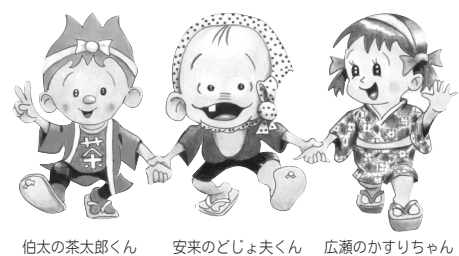
事務局からのお知らせ

ホームページアドレスが変わりました。
新アドレス <http://www.y-hozon.com/>
メールアドレス admin@y-hozon.com

ホームページには随時、新着情報を載せています。また、お急ぎのご注文やご連絡にはメールをご活用下さい。

安来節に関する資料提供のお願い
 かねてより待望の安来節会館が建設されることになりました。場所は、足立美術館の近く、古川町地内。観光客に安来節の歴史を紹介したり、演芸を見てもらう安来節の殿堂として安来市が建設するものです。未だ設計段階のため、詳しいスペース等は不明ですが、来春完成予定に向けて、安来節に関する資料を集めていきます。道具類、書物、写真等、展示するためにご提供いただけるものがあれば、事務局までお知らせください。
 (TEL 〇八五四―二二一―八二二〇)

平成16年10月1日
安来市・広瀬町・伯太町は
(新生)安来市に生まれかわります!



伯太の茶太郎くん 安来のどじろくん 広瀬のかすりちゃん

新支部設立
 <和歌山支部>
 支部長 石倉喜充
 ☎641-0003 和歌山市坂田 七四四・一四
 電話(七三)四七三・六二八

掲 示 板

岡山支部十五周年記念発表会

岡山支部十五周年記念大会は、平成十五年十二月二十三日、岡山県立美術館二階ホールに於いて盛大に開催されました。ここは岡山市のほぼ中央。後楽園の近くにあり、近代建築のホールで音響効果もよく、最高の雰囲気の中で行われました。
 安来節保存会本部から、野坂名人、足立稔准名人、原准名人を迎え、岡山ブロックからは野坂亮若准名人(津山中央)、大西先生(大阪)、内藤先生(関西)、山下先生(津山)、棚橋先生(東京)の友情出演をいただきました。また、地元四つの民謡会からも協賛を得て、北から南からの民謡を披露していただきました。観客席は二百十席ですが、超満員となりました。小学生から始まり、名人に至る安来節の醍醐味を満喫した聴衆はうっとりとしていました。こうした会では、お目当ての出演がすむとすく席を立つ―いわゆる義理で来られる人が多いと聞きますが、この度は、進むにつれてだんだん芸がよくなるものですから、ほとんどの人がトイレに行く時間さえ惜しんでいたようです。午後一時開演、四時半終了まで、時間はアツという間に過ぎました。
 思い出せば十五年前、支部を発足させた時には、故国尾名人にぜひいぶんとお世話になりました。足立稔先生には八年前にわたり、毎月二回岡山へ足を運んでいただきました。おかげさまで、十五の師範資格を持つ支部にまで成長しました。
 これまでにご指導を賜りました川部康先生、二代目安達順吉先生、野坂亮利先生をはじめ、ご薫陶をいただきました諸先生方には満腔の敬意を表する次第であります。
 平成十六年一月三十一日には、



岡山支部15周年記念発表会

岡山市民会館に於いて岡山市後援の「民謡夢舞台」が行われました。このときは、日本を代表する民謡歌手六名と地元の民謡会が競演をしました。その中に岡山支部も出演し、ヤンヤの拍手を浴びました。
 岡山支部代議員 小泉久平

第18回 山陽・四国地区安来節優勝大会

とき：平成15年11月16日(日) ところ：二川公民館(広島県呉市)
 標記の大会が開催されました。成績は次のとおり。 主催：山陽・四国地区安来節保存会

師範の部	唄	絃	鼓	踊
優勝	越智咲子(伊予道後)	平本真理子(玉実)	川村淳子(玉実)	和田 弘(鯉城)
準優勝	下向井みどり(広島)	藤田博子(玉実)	平本真理子(玉実)	森下行晴(鯉城)
第三位	吉井綾子(広島)	堀口邦江(宮島)	石岡涼美江(松山)	徳本東夫(松山)

演舞場が新しくなりました

今年、安来市制五十周年にあたり、第五十回のお糸まつりに合わせ、安来公園の演舞場が改修されました。桜と安来節の名所を活気づけるため、ポンボリの協賛をいただいた方々、ありがとうございました。今年のお糸まつりは四月十一日。例年の行事のあと、今回は銭太鼓部門設立記念発表会と江戸ワンダーランドショーを計画しております。新装となった演舞場にぜひお越しください。



平成十五年十月からスタートした審査員・指導部の新体制が決定しましたので、お知らせします。
 資格審査長 二代目 安達順吉
 副資格審査長 野坂亮利 上代茂則
 指導部長 安達友之
 副指導部長 出雲正之助 二代目 砂川 清 五代目 富田徳之助